

真宗大派
高德寺通信
2022年秋号



100号発行記念

特集

おかげさんの歩みを ふりかえって

思ひ出せば 1997年、私が32歳の秋に高徳寺の寺報『おかげさん』を発行してから25年の月日が流れました。

今年に入り 98号、99号をさしあげた方々から、100号を樂しみにしておるという声や、どんな内容にするのかと云ふ声を頂いて、地味にアレクシマーを感じております。

今号は節目の号ということで、この25年間の歩みを振り返って(どうしてもページ数に限りがあるので、ざっとですが)みた、と思います。

ちなみに、寺報のタイトルですが、決定するまで結構悩みました：

自分を成り立たせておるご縁、しかも直接には見えない、分からぬ、"かけ"となつてはたらく縁：その"かけ"に『お』と『さん』(様)をつけた、『おかげさん』にしようと、とうと、至りました。

響ひびき

昨年の自坊の報恩講から、寺報を出しはじめた。寺報を発行するに至つてのいきさつは、こうである。

昨年九月末より十月初めにかけて参加した、伝道講習会においての私の発言が引き金になつて、全体座談の時に「いつかは寺報を出したい」と言つてしまつたから大変である。「いつかは、なんて言つてたらずつと出せないよ」「すぐ出そうよ」「そうだ、それがいい」というように、あつという間に寺報発行が決まつてしまつたのである。とは言え、以前から漠然と寺報を出したいと思っていたので、周りの皆さんの声は内心うれしく、自分でも決断できたのである。

創刊号は手書きのB5判四頁。報恩講の前の晩に作成し当日の早朝に両面コピーして完成した。なんとか公約どおり発行したが、今見ても恥ずかしい限りである。

そして昨年の大晦日に第一号を発送した。(創刊号は報恩講に来た方のみに配ったので今回あえて一号として、全ての門徒の方々に発送した)

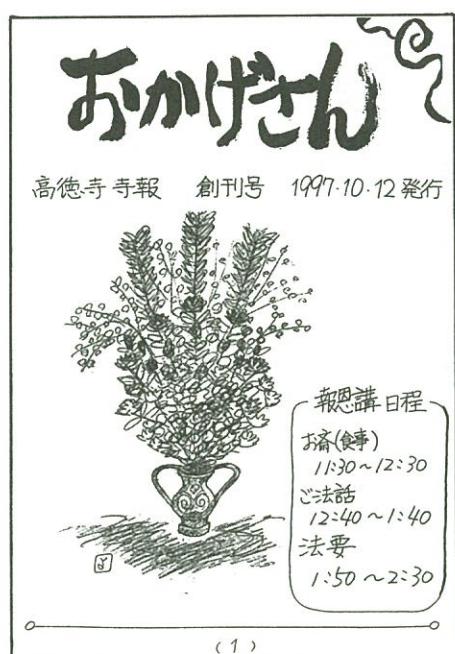
驚いたことに、新年早々門徒さんの何人かの方から手紙が来た。内容は、「発行おめでとう」「続けてほしい」や「感動した」等様々。第一号はかなり時間を費やしたので、このわずかな反響はとても励みになつた。

今後も毎回初心に戻つて、気張らず、かっこつけず、気長に続けていこうと思う。ちなみに、寺報名は「おかげさん」年四回発行を予定している。



のハニ「もこの1号から、自分のおもいを綴り絵手紙風な表紙となつた。

左の「おかげさん」1号が実質的な創刊号である。黒梓の「おかげさん」のロゴが決まり、私の法名、釋義祐



◆25年前の報恩講にお参りされた方のみにお渡しさせていただいた幻の創刊号!!

餉の年や エピソード を持つ号

1999年・秋号



◆当時、仏具を磨くのは寺の家族、たまに副住職が一人で泣きながら(笑)磨いていた。ある日、墓地でお参りされていたご門徒の夫婦と立ち話しついでそのことを愚痴。たら、「私たちがお手伝いします」とお磨き奉仕を買って出て頂き、その御礼とご報告をこの8号に記載した。「お磨きの会」スタート!

◆7号(1999年・夏号)はなんと2ページ!
(しかもハンコ(法名)も押し忘れている....)

- 1号・2号を読んでくださったご門徒の方に表紙を差めていただく。
- 「よくぞ発行してください!」とご門徒の方に「お祝い」を頂戴する。

※この7号...出すのをやめていたら今回の100号はなかったと思うと、2ページでもよく発行したとつくづく思える大切な号!



2002年・夏号 ↑

※19号もハンコを押し忘れている!

◆私が小学生の頃、父はボーカル活動に夢中で家族旅行というものは、ほとんど催行されなかつた。「お磨きの会」で京都の東本願寺へお参りに行こう!ということになつて門徒さんをお連れして旅に出たのが2002年の5月、総勢13名。この年から毎年“おやじへの復讐の旅(笑)”=『高徳寺旅行会』がはじまった。



2007年・新年号

◆お磨きをしている時に門徒さんから「親鸞聖人ってどんな人だったんですか?」という質問が出た。ならば皆でどんな人で、真宗の教えとはどういうもののかを尋ねてみましょう...ということになり、この年から寺子屋の時間が始めた。



2022年・新年号

◆ 2022年の新年号なのに
“2021年”と書いて、そのまま
気がつく間に発行してました!
自分が自分でやになる...!!
たいへは息子の手に校
正をお願いしているのですが
この時はその様な時間も
取れずで、このあり様...。
イックは必ず以外の方に
してもらいましょう... (泣)



2013年・秋号

◆ ある日、あるご門徒
の方から「次の寺報
の表紙はドラムの
絵にしてください」と、リ
クエストを頂き、それに
お応えした。ビートレス
のリコ・スター・バージンを
okagesanロゴで...。



2020年・夏号

◆ 新型コロナウイルスの感染拡大が
一向に収まらなくて、当時世間で
話題になっていた『アマビエ』
を表紙に描いてみた。秋彼岸の
時にお参りされたあるご門徒の方
が綺麗な色に塗られた91号の
アマビエをお孫さんと一緒に私に
見せてくれた♪白黒の表紙はぬ
り絵にならんだ!と目からウロコ。
嬉しい暖かさ気持ちになった!



◆ 81号は、2017年11月12日に87年の人生
を全うしてお浄土に還つていった
住職の父(高徳寺第29世住職)
新井道雄(みちお)のお別れ特集とした。
命終してから8日間本堂に安置
されてる間も沢山の方々がお参
りに来てくださいり、寒い中通夜・葬
儀にも大勢の方々にお参りを頂いた。
コロナ禍前だったので正式な形
で、沢山の方々にお見送り頂けた。
これは本当に有ること難しおが
さんであるし、87歳の誕生日が命日とな
ったことを稀有なことである...。



2018年・新年号

住職任命
ご報告です

6月26日(日)から28日(火)まで
京都 軒轅本廟(東本願寺)
にて、2名の総代(菅原悟さん、伊藤隆介さん)とともに
住職修習を受けて参りました。全国各地から総勢79名(僧侶37名、総代42名)が、「研修道場」という
棟に寝食を共にして受講します。班別座談、総代新住職
班に分かれ、カリキュラムを非常にタイトな日程の中で

日本・教会主導者任命記念 2011年(平成23年)6月28日 斎・眞宗本願寺(東本願寺)

住職任命
ご報告です

(5)



2011年3月11日、14時46分に東日本大震災が起り、18425名の死者・行方不明者を出す未曾有の大災害となつた。親鸞聖人七百五十九回御遠忌の大法要に東京五組(高徳寺が所属している真宗大谷派の東京教区のブロック、20ヶ寺からなる)総勢240名での団体参拝(本山 京都東本願寺にて研修)を予定していた。決行すべきか、中止にするべきか…会議を重ねた結果、お参りすることになった。(高徳等旅行会は五組の団体参拝に移行)私どもだが、6月に本山にて「住職修習」を受け、高徳寺の第26代の住職を拝命した。

GOENS ゴーエンズ

~チャリティーライヴパーティーのご案内~
8.25(日)

17時開演 (16時開場)
お一人様 1000円
(中学生以下は無料です)
高徳寺新開館記念ホール
地下1階であります。
お問い合わせはおまかせください。

GOENS 2011年夏号(79号) (13)

お客様が遊びに来てくださる♪『スマクソンズ』は2014年から2017年まで計4回、代わって住職がバニマスのバンド『ゴーエンズ』が2018年、2019年とライブを開催した。

残念ながら、2020年からは新型コロナの感染拡大によりバンド活動は休止となつてなる。再開出来る日が待ち遠しい…!

2000年に結成した住職が所属するバンド、『スマクソンズ』のチャリティーライヴパーティー。参加費や義援金は、東日本大震災、被災地や災害ボランティア部門へ寄附をさせて頂いている。年に一回、のべ100人くらいのお客様が遊びに来てくださる♪『スマクソンズ』は2014年から2017年まで計4回、代わって住職がバニマスのバンド『ゴーエンズ』が2018年、2019年とライブを開催した。

Syakson's Live

~チャリティーライヴパーティーのご案内~
7.30(日)

16:00~開場
16:30~マジックショー (西尾楚)
お一人様 ¥1000 (中学生以下は無料です)
(20:30終了予定)

※当日は収益金及び賛助金80%、中学生は50%を各部会へ寄附いたします。
ご理解いただけますと幸いです。

2017年夏号(79号) (13)

旅行会をふりかえる

2003年から始まった旅行会は 新型コロナで断念するまでの2019年まで
16回続き、住職（始めた時は副住職）の行きたい所へ有縁の方々と
朋に素敵な思い出を残してきた。いったいどんな所へ行ったのか。
第一回から振り返ってみたいと思う…。（2002年のおたれし京都の旅はカットせず…）

《第1回・越中五箇山・白川郷・飛騨の旅》



(2003年・夏号 23号)

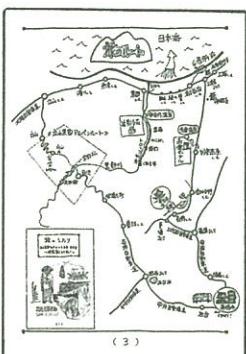
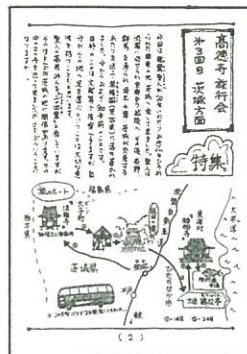
《第2回・立山黒部・赤倉・善光寺の旅》



→トロッコ列車牽引機関車

◆高徳寺の境内から大型バスで公発。総勢15名。途中「扇沢」からバスを降り（バスは立山で待てばよい）、トンネルトロリーバス・徒歩・ケーブルカー・ロープウェイ・トンネルトロリーバス・高原バス・ケーブルカーを乗り継ぎ専用バスにピックアップしてもらって、宇奈月温泉に泊。トロッコ列車に乗って新緑を愛でた後は、親鸞聖人のご旧跡を参拝して、赤倉温泉へ。とても大きなお内仏（仏壇）の前でお夕事を勧め、翌日は長野の善光寺を参拝して高徳寺で解散。今振り返っても中身の濃い旅行であった♪

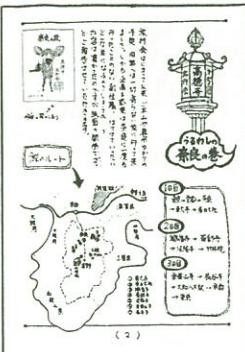
《第3回・茨城・大子・大洗・那珂バスの旅》



(2005年・夏号) サザエ →

◆如信上人（にょんじょうじん・本願寺第2代）の御廟所、法龍寺参拝。2日目は、東海村・原駒船寺へ参拝、大洗で美味しい海の幸を満喫！

2007年・夏号



《第5回・うるわしの奈良の旅》
東大寺・興福寺・薬師寺・法隆寺・金峯山寺参拝

2006年・夏号



《第14回・京都東本願寺・加賀光闘坊参詣》
・佐野明弘住職ご法話・吉崎御坊参拝

2009年・夏号



《第7回・本山参拝＆真宗王国/仏教と巡る漫遊旅》
・京都・東本願寺・諸般拝観・加賀光闘坊再訪

2008年・夏号



《第6回・九州/宗教弾圧と戦争の重い旅》
・知覽特攻隊・熊本(人吉)妙心寺・島原かみキリシタン
・雲仙普賢岳・長崎原爆資料館…とにかく重かった！

2012年・夏号



《第9回・小樽＆札幌の旅》
・小樽・聖教寺参拝・余市ウイスキー工場
・小樽運河・札幌別院参拝・札幌ビル園

2010年・夏号



《第8回・岩手＆秋田を味わう旅》
・宮沢賢治記念館・小岩井農場・田沢湖
・角館

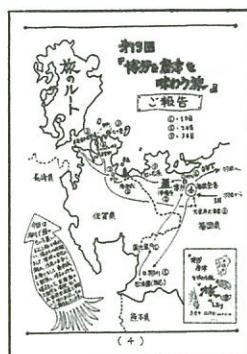
2014年・夏号



《第11回・京都と伊勢を味わう旅》

- ・京都・東本願寺参拝。
- ・小堀伝次郎山科工房見学
- ・伊勢神宮参拝。おかげ横丁散策。高田寺修復参拝

2016年・夏号



《第13回・博多、唐津を味わう旅》

- ・柳川・川下り＆鰻。蒲池焼陶芸。淨慶寺参拝
- ・唐津城。ヒッコリ遊覧船。呼子の珍食す♪

2018年・夏号



《第15回・蓮如上人と念佛の道場を訪ねて》

- ・加賀光圓坊参拝(三度目)。吉崎御坊参拝
- ・計願寺参拝。川合道場参拝。高山別院参拝

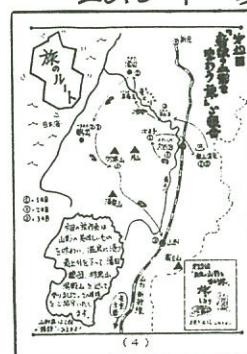
2013年・夏号



《第10回・初夏の四国を味わう旅》

- ・高松教務所。金刀比羅宮参拝。大歩危・小歩危
- ・祖谷・かづら橋。今治。道後温泉。松山城

2015年・夏号



《第12回・新緑の山形を味わう旅》

- ・大石田・西蓮寺参拝。銀山温泉・北湯平八泊
- ・最上川下り。酒田。街散策。羽黒山。大日坊参拝

2017年・夏号



《第14回・弘前・黒石/津軽の文化を味わう旅》

- ・弘前城。五所川原(立待武多の館)。三内丸山遺跡
- ・奥入瀬溪流。八甲田山。十和田湖遊覧船

こうして振り返ってみるといろいろな所に行かせて頂いたものである。私の行ってみたい所におつき合いくださった方々、本山や研修でお知り合いにならせてもらい、「門徒さんをお連れするので宜しく…」との私が頼んで応えてその土地に一度も行ったことがない私をフォローして頂いたお寺の方々、旅行会社さん、素敵なお観光スポットや

美味しい食事処を教えてくださった方々に、あたためてこの場をかりて御札を申し上げます。

有り難うございました!

そして新型コロナの

影響で3年間お休みしていた旅行会社を来年、『東京五組団体参拝の旅』とのコラボといつ形で再開する予定であります。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。

*寺報のバックナンバー(69号~100号と別冊)は当HPで読めます!!

2019年・夏号



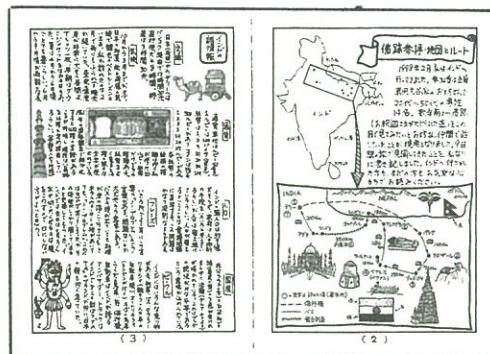
(4)



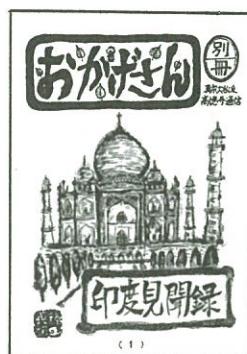
(1)

《第16回・博多・熊本・鹿児島・宮崎をめぐる旅》

- ・北九州&門司港・博多泊・熊本城
- ・人吉・樂作寺参拝・霧島泊・鶴戸神宮参拝
- ・青島神社参拝・鬼ヶ浜瀧岩



(2)



(1)

◆インド見聞録(1998年2月) 1999年7月別冊

◆カンボジア見聞録(2008年9月) 2009年8月別冊



(2)



(1)

報恩講のご案内

2022年10月22日(土)

12:30 受け付開始

15:30 法要

13:20 住職挨拶

16:30 恩徳讃齊唱

13:30 法話

住職挨拶

15:00 休憩

参詣者焼香

16:45 終了(予定)

法話の講師は

三明 智彰 先生 です

(九州大谷短期大学・学長)

◆2020年、2021年と新型コロナ対応で内勤め(寺の者のみのお参り)のかたちを取りましたが、今年はご希望の方のお参りをお受けいたします。(先着40名とさせていただきます。)

法話は後日、高徳寺のHP内の配信を予定しておりますのでご無理はなさらないでください。参詣のお申し込み、お問い合わせは、住職までご連絡ください。

釋了吾の 八女日記



とそのう

皆さん、こんにちは。九州八女の方は、稻穂も黄金色に色づき重そうにこうべを垂れ始めています。大型の台風11号が、この原稿を書いている時点では沖縄の南ほどにおりまして、当地もコースによっては大丈夫か!?といった状況です。関東の方は埼玉などが大雨、また東北の方も線状降水帯の被害がすごいと聞きました。お住まいの地域は大丈夫でしょうか。避難場所や危険な場所の把握を、災害の起こる前に確認することの大切さを昨今は特に感じることが多いです。前号の原稿を書いている時は6月末で、梅雨が明けたということ

を書ききましたが、気象庁によると梅雨明けは7月の後半に修正されたようです。以前のように「これが梅雨明けだ」と確信を持って言うことが出来なくなつて思う毎日です。パキスタンでは国土の1/3が洪水の被害を受けたり、フランスでは干ばつが、中国も長江が干上がり地域もあるとか。毎日朝のBS 1chのワールドニュースをお寺に行く前に観ているのですが、戦争以外にも気候変動の影響で多くの人が苦しんでいる様子が目当たりにしています。「諸行無常」一切皆苦」というお釈迦さまの教えが頭をよぎります。ちなみに私の八女の家では、裏の田んぼでのカエルの大合唱は終わり、私の睡眠に平穀が訪れたかなと思いましたが、今度は今までカエルのおかげで聞こえていなかった虫の鳴き声がよく聞こえるようになりました。「苦」と田じめなければいいのでしそうですが、寝つきが良くなりやましいです。(泣)

さて、この八女日記が掲載される「おかげさん」はなんと100号！と云ふことで、大変な節目の号となりました。住職であり父親である新井義雄が、100回も表紙を描き、100回も本文を考えて悩み、100回も締め切り間近に憔悴していた(笑)と思うと、素直にすごいなど尊敬していきます。この八女日記は代筆ですが、自分で自分を褒めようなど文章を書いて、むすかゆい思いをしていることでしょう。(笑)また、同時に100号まで印刷・発送をお手伝いいただきすべての方のおかげさまでもあります。本当に有り難い100号だなと思います。お寺にあるものが何を考え、何を発信したいのかと云ふことを、こういう形でお伝えする大切なことです。次の節目は何号でしょうか？是非とも命の続く限り頑張っていただきたいのです！100号の感想は、住職が述べることでしょうから、私は最近の身の回りのことについて。八女でお勤めしている中で、じつはお実家は八女だけれども今は東京におられるという方に何人もお会いします。その中でも、何回かお会いして私の実家の話をすると、高徳寺にお参りしたらいつ方があられました。お金過ぎにお参りいただいたので、稀有なことだと、八女の縁が東京まで伝わったなあと不思議な気持ちになりました。明永寺さんで働かせていただけて今年で3年目にになりますが、

東京への縁がつながるとは思ってもいなかつたことですから、本当に有難く、うれしいことでした。また、最近は値上がり値上がりと、なんでも値上がりしていますね。八女は東京に比べて物価は安い方ですが、それでも色々もの値段が上がっています。前号でも申しましたが、今日農家の方から聞いた話では肥やし(肥料)の値段が一つ1500円から4000円に上がったということでした。それだけ作るのに金がかかりますから、販売価格も当然上がって行く……皆さん周りでも、値上げを実感されています。ご飯は鶏むね肉が多いで、お肉は安いのですが、野菜が本当に高です。野菜はお腹も贋れますし、食物繊維やビタミンも豊富で、ダイエットの朋です。何とか安売りしてくるものを探して、スーパーを何軒か車で仕事終わりにハシゴをして、ちびちび節約をしています。ゆめタウン、トライアル、ダイレックス…スーパーの名前ですが、聞いたことがありますか(笑)主婦の方から情報を仕入れて、また肌感覚で人暮らしをしておられます。ああ、今月は電気料金が怖いですネ…合掌(つづく)

京都東本願寺 団体参拝のご案内

真宗大谷派 東京教区 東京5組
&
高徳寺・コボ旅行

2023 4/21~23
(金) (日)

お一人様 75,000円(参加費)
※往復旅費・食事代・宿泊代・他が含まれます。

来る2023年(令和5年)は、宗祖親鸞聖人の誕生から850年。
主著である『顕淨土真実教行証文類』(『教行信証』)を著し、
教之を顕かにされてから800年になります。

真宗本廟(京都・東本願寺)では、『宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年慶讃法要』が勤まります。

高徳寺が所属している東京5組では、全20ヶ寺の寺院の寺族と
ご門徒の方たちでの団体参拝を企画(4/21・22の1泊2日)しております。
また、そこにもう一日(1泊)をプラスして(高徳寺旅行会)、2泊
3日の旅にアレンジいたしました。新型コロナの影響で3年間
旅行会は中止となっていますので久しぶりの旅行であり、本山
へのお参りとなります。参加ご希望の方は住職までご連絡
ください。(9月末日締切予定です!)

4/21(金) 東京駅 → 新大阪駅 → 大阪・なんば別院(南御堂)参拝・工化けホリデー急行

4/22(土) ホテル → 京都・東本願寺/大法要参拝 → 昼食 - (新しい企画!) - ホテル泊

4/23(日) 京都駅 → 彦根駅 → 国宝・彦根城 → 長浜別院参拝/ビル園de昼食
黒壁の町散策 → 長浜駅 → 東京駅(解散)

※4/22の本山・大法要までが団体参拝。その後の旅は高徳寺旅行会となります。

2022年7月10日(日)

今回もお内陣にある化粧具を
ピカピカにしていただきました♪

磯崎 進也さん
清水 伸治さん
清水 和美さん
菅原 悟さん
菅原 千恵子さん
塙田 和子さん
水越 拓路さん

(ありがとうございます)

2022年9月11日(日)

新井 和子さん
児玉 金之助さん
清水 和美さん
菅原 悟さん
塙田 和子さん
塙田 太郎さん
仁野平 遼芳さん
水越 拓路さん
水越 和子さん

(奉仕、心より感謝申し上げます。)



神江永
野守川
利淳子
くらうさん

ご相談・お問い合わせ

お受けしております。

お墓のこと … 例えば

- ・墓じまいを考えている
- ・直したい
- ・香炉を新調したい etc.

法事のこと … 例えば

- ・おじいちゃんの17回忌がコロナで延期になってしまった etc.

お寺に
連絡
して
ください

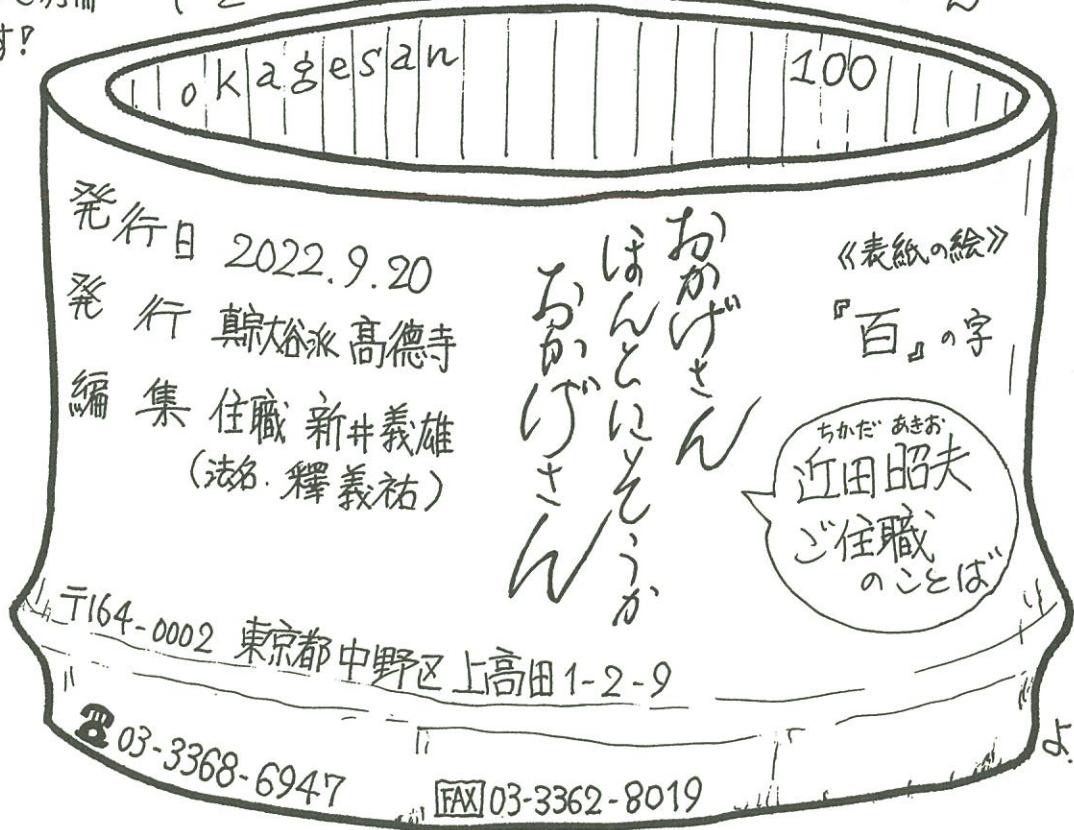
あ
と
が
キ

下の竹の輪切りの絵の中にある“おかげさん”
ほんとにそうか “おかげさん”と、う言葉は、
の2月の研修会の席で、近田昭夫(ちかだあきお)2007年
京都豊島区南池袋・顯真寺(けんしんじ)前住職(まぜんしょし)
10月26日にご命終(みょうめいこう)になだって、私の真宗聖典に
書いていた言葉です。親鸞聖人(おおやなさん)お
言葉なんかを書いてくださったのかな……なんて
思いながらこれを見た時は、頭の中に銃(じゆう)衝
撃(じゆうげき)が走りました。おかげさんおかげさんって言
つてるけれど、本当にそういただいていいのかい
？？？と。以来、真宗聖典を開く度(たび)いつも
そのことを私につきつけてくださる。もう近田
先生とお酒を酌み交わしたり、お喋(しゃべ)りはかな
いなけれど、この言葉がはたらきとなつて
私をハッときさせてくださる。100号を節目と
し、新たなスタートとして、縁が尽きるその日まで
この私を時に堂々と
時に迷いながら歩んで
行きたいと思ってお
ります。今後とも宜しく
お願ひいたします。



〈高徳寺QRコード〉

「おかげさん」コーナー
より、69号～100号の
バックナンバーと別冊
が読みます！



釋義祐 拝